

2022年度-2024年度 中期経営計画



目次

1. 前中期計画の総括

2. 経営基本方針

3. 基本戦略

4. 事業戦略

5. 新中期計画業績目標

6. 経営指標（K P I）

1

前中期計画の総括

1

安全とコンプライアンスの徹底
による健全経営

2

事業の持続的成長を目指した
グローバル経営・連結経営の推進

3

研究開発の総合力強化と独自製品の
継続的開発上市による新製品事業化
率の向上

4

主力製品の生産能力増強・既存機動工場の
更なる生産性向上による供給能力最大化及
び受託品取込みと委託を含む協業の拡大

5

売上高営業利益率 9%以上の継続的
達成と投下資本利益率(R O I C)
10%以上を目指した事業価値の向上

✓ **達成**を継続

✓ 田岡化工材料(上海)の**設立と
運営開始**、タオカケミカルインド
でのゴム薬設備**新設と試製造実施**

✓ 新製品事業化目標
(対売上高20%)の**達成**

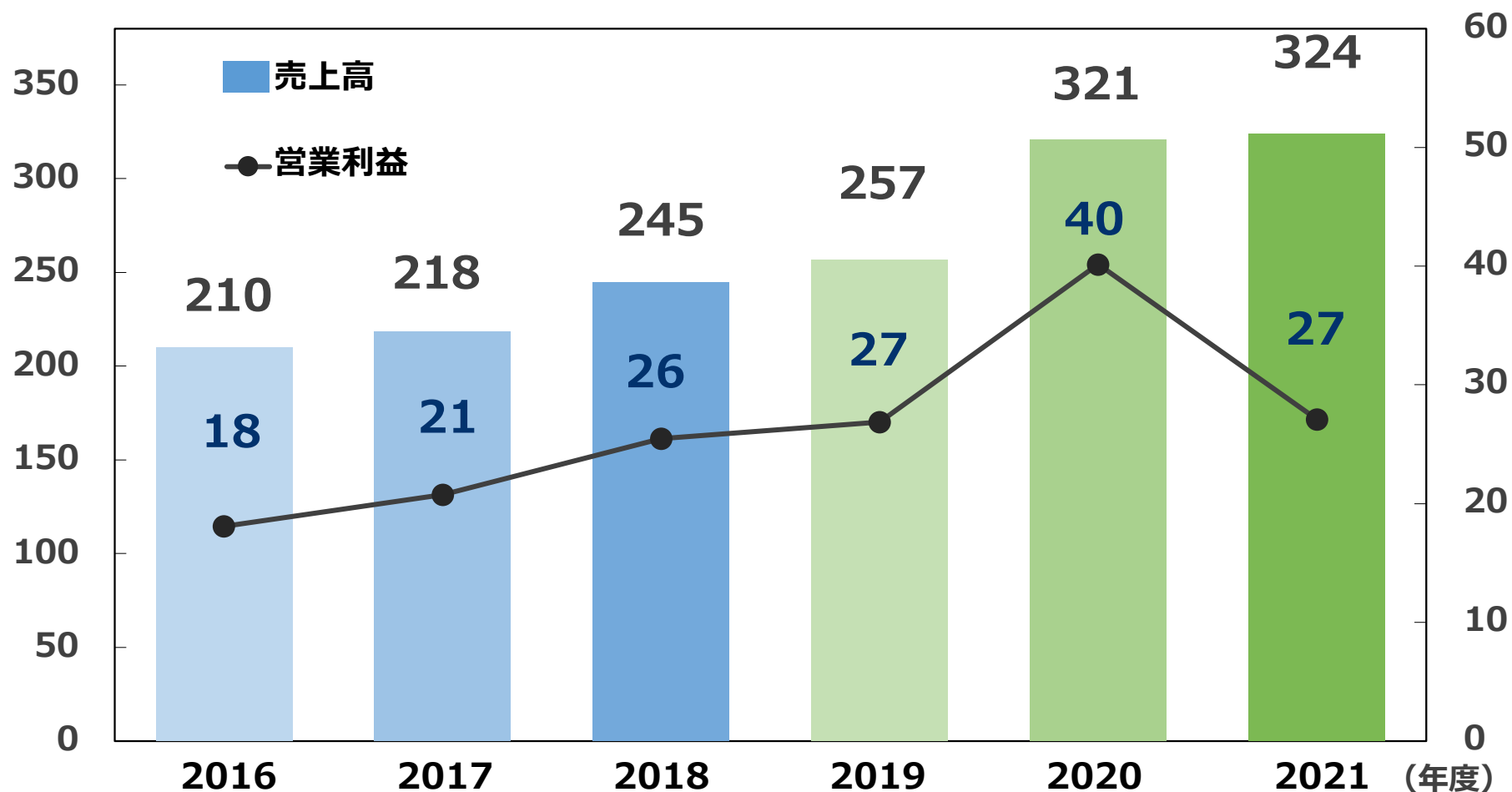
✓ 播磨新多目的工場(N-2工場)
の**完成**、三菱ガス化学株式会社
と合併会社設立合意

✓ 営業利益率は最終21年度で
下回るもROICは継続的に**達成**

前中期計画の総括 – 業績推移

■ 着実に事業規模は、**拡大を継続**

(単位：億円)



経営基本方針

当社は、経営理念を実現し、社会に欠くことのできない企業として力強く発展を続けるために、当社自身がサステナブルな企業であり続けること、良き企業市民として社会のサステナブルな発展に貢献することにより社会的責任を果たすことの双方を経営の重要な目標と位置づけ、基本方針を定めます。



◆当社は、サステナブルな企業であり続けるために、創業以来培ってきた有機合成技術と生産技術を常に進化させ、幅広い産業を支える基盤となる製品、豊かで快適な社会の実現に資する製品を提供・開発し続けます。



◆当社は、人権を尊重した事業活動を行います。また、明るく快適な職場づくり、従業員の公正な処遇、能力開発、安全と健康の確保に努めます。ダイバーシティの尊重を基本方針として掲げ、取り組んでいくとともに、国籍やジェンダー、年齢にかかわらず多様な人材が生き生きと活躍できる組織風土を作り上げていきます。



◆当社は、技術を重視し、創造した価値を知的財産権として適切に確保し、重要な財産として活用します。



◆当社は、顧客からの信頼を大切にし、製品の安定供給、優れた製品品質の確保、顧客や社会のニーズに即した製品の開発・改良を行います。



◆当社は、株主、取引先、工場周辺地域、従業員等ステークホルダーへの公正、適正な情報開示に努め、対話を図ることにより、適切な関係を保ちます。





◆当社は、社会の持続的な発展に欠かせない地球環境の保全・良化に貢献するために、CO₂をはじめとする温室効果ガスの削減などの気候変動問題への対応を始めとして、廃棄物量の削減、環境負荷低減、廃プラスチックリサイクルに取り組み、その進捗を適切に開示します。



◆当社は、安全を全てに優先させることをあらゆる事業活動の基本とし、無事故・無災害、工場の安全・安定操業の実現に努めます。



◆当社は、コンプライアンスを重視し、社会の一員としてそのルールの遵守を徹底するとともに、自由、公正、透明な取引を実践します。
また、コンプライアンスに加え、自然災害への備え、原料の安定調達、事業BCPプランの不断の見直しなどリスクマネジメントを含む内部統制システムの充実に努めます。



◆当社は、多様な知見を有する取締役で取締役会を構成し、活発な議論を行うよう努めるとともに、その議論を経営に適正に反映させます。

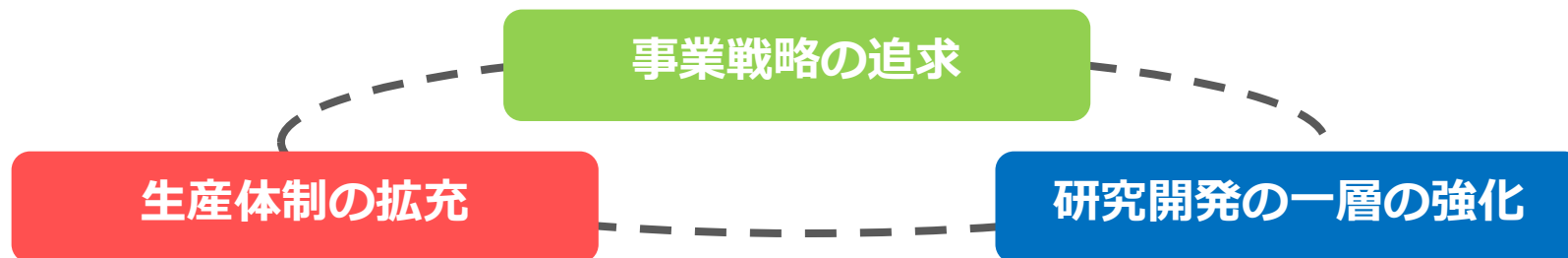
中長期的な事業目標と基本戦略

中長期的な事業目標

- ・ 売上高 **500億円**
- ・ R O I C 投下資本利益率 **10%以上の継続達成**

基本戦略

中長期的な事業目標の達成に向け、新中期計画では既存事業の収益拡大の取組みに加えて、新しい事業創出と既存事業の新しい展開を図る。



当社の強み

- ・有機合成技術の知見
(研究開発・生産技術)
- ・機動性の高い生産対応
- ・短期間での工業化実現
- ・コスト競争力
- ・顧客からの信頼

製

事業価値
向上

販

研

基本戦略

- ・国内外のあらゆる事業機会を追求
 - ① 成長分野への**新規参入** 電子/半導体材料、モビリティ、環境等
 - ② 既存分野での**事業機会探索** 新規顧客・新規用途、新規受託
 - ③ 既存領域での更なる**事業拡大** 保有技術→周辺分野への展開強化
- ・国内外での事業探索・**創出機能強化**
- ※当社が**高付加価値**を獲得できる事業の探求
- ・強みの更なるブラッシュアップ
- ・特徴ある化学企業としての**価値向上**

基本戦略 -アクションプラン

人材確保・育成

必要な人材の採用・育成に取組み、計画的なローテーションを実施する事により、適正な配置を目指す。

また、多様な人材が活躍できるようインフラをはじめとする環境整備に着手する。

DX推進

全社レベルで業務の高度化、効率化、生産性向上などを実現するため、DX推進プロジェクトを立ち上げる。

リスクマネジメントの強化

原料調達BCPプランを更に強化する。

各種業法の遵守、自然災害・化学品安全・労働災害・品質リスクへの対応等について、全社でのレベルアップを目指す。

社会のサステナブルな発展への貢献

①溶媒・製品回収プロセスの確立、②排水負荷低減、③CO₂大気放出量の低減 等についてKPIを設定し、積極的に取組む。

既存事業

注力事業

樹脂原料,ワニス等

- ✓前中期期間中に行った**生産能力増強成果に基づく拡販**や**合併事業本格化**により、**事業規模と収益の拡大及び供給の安定化**を実現

受託事業

医薬・農薬中間体,電子材料等

- ✓当社の強みを生かした**コスト競争力の強化**
- ✓新規受託品獲得による**収益拡大**

育成事業

ゴム薬品,接着剤,加工樹脂,可塑剤等

- ✓**新規顧客・新規用途開発**
- ✓顧客ニーズに対応した**改良品の開発・生産**

新規事業

現在手掛ける新規
開発品の早期立上げ

▶光学樹脂用原料等新規開発品

新規事業探索機能
の強化

▶グラフェンナノリボン等

新中期計画業績目標

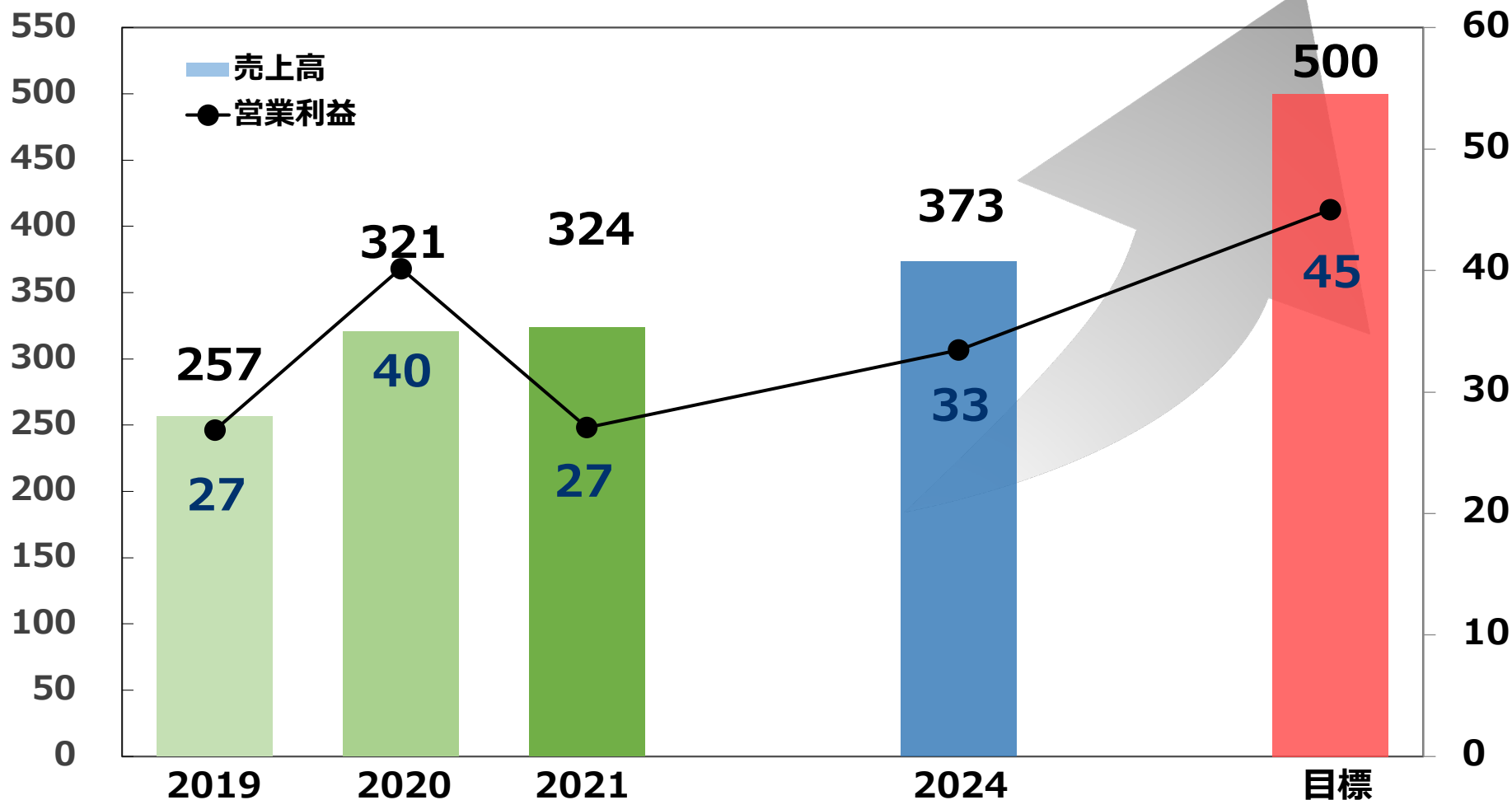
(単位：億円)

	2021年度 目標	2021年度 実績	2024年度 計画
売上高	3 0 5	3 2 4	3 7 3
営業利益	3 0	2 7	3 3
営業利益率	10%	8%	9%
ROIC(投下資本利益率)	10%以上	12%	10%

ナフサ価格	¥51,000/kl	¥57,000/kl	¥50,000/kl
為替レート	¥113/\$	¥113/\$	¥110/\$

新中期計画業績目標 – 業績推移

■ 前中期に引き続き事業規模の拡大継続により**企業価値の向上**を追求 (単位：億円)



▶ 設備投資・研究開発計画

投融资計画

100億円／3カ年

※新立地投資50億円を含む

研究開発費

10億円／年

▶ 業績目標値

営業利益率

9%超

ROIC (投下資本利益率)

10%超

▶ 新製品開発・海外事業規模目標

新製品開発目標

70億円／年

海外事業規模目標

70億円／年



注意事項

本資料に記載されている、将来の見通しに関する記述・数値は、現時点での入手可能な情報及び一定の前提に基づいて作成しておりますが、リスクや不確定な要因も含まれており、その達成を当社が約束するものではありません。

また、実際の業績等は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、為替動向等、様々な要因により、大きく異なる可能性があります。